

令和4年度 学校関係者評価

令和5年3月2日実施

【保護者アンケートについて】

- ・保護者の学校に対する信頼が高いことが伝わってくる結果であった。
- ・設問4「学校はきめ細かな生活指導や安全指導をしている」については、登下校指導、挨拶運動、最近の生徒の興味・関心事、トラブルや課題等は学校だよりだけでなく、ホームページでも伝えていく必要がある。
- ・学習面については改善の余地があるが、教師の誠実な対応がうかがえる評価であった。
- ・設問21「旭中の教育活動に関心がある」の肯定評価率に比して、設問1～12の肯定評価率が高い傾向にあり、保護者は学校に対して高評価であることがわかる。
- ・設問21の肯定評価率が高いことは、保護者の学校に寄せる期待の高さの表れであり、学校はそれに十分に答える努力をする必要がある。今のところ、学校と保護者の関係性は、均衡が保たれており、良好であると判断している。
- ・コロナ禍で制限のある学校生活だったと思うが、各行事が実施できたことは、生徒や保護者のモチベーションが向上して良かったと思う。
- ・学校の校内美化は、良くなされていると感じているが、評価が低かった。
- ・設問23「教師は、わかりやすい授業をこころがけ、授業の改善・工夫に努めている」に関して、毎年、授業参観をしているが、かなり改善されてきていると感じる。教師主体から生徒が主役の授業になってきている。
- ・特別支援教育の充実については、生活や学習の様子が見えにくいところがあると思う。コロナ禍の前までは、合唱コンクールの時に、生徒の作品展示があった。その中に特別支援学級の生徒の作品も展示されており、その出来映えの素晴らしさから、日々の取組の様子を感じることができた。

【生徒アンケートについて】

- ・生徒は基本的な生活習慣が身につくようであり、部活動に熱心に取り組んでいる様子が見えた。
- ・学習に対する意欲がさらに高まると学力向上につながると思う。
- ・生徒と教師の良好な関係がうかがえた。
- ・全体的に良い評価である。特に、あいさつは社会生活の基本ともなるので、続けてほしい。
- ・設問7「授業は、どの教科もわかりやすい」の評価が高いと感じる。教師の不断の努力の賜と感服する。
- ・読書指導については、今後も図書館司書とも連携を図ってほしい。
- ・全項目で評価が高く、コロナ禍でありながら、生徒の自主自律の精神が学校生活の中で健全に育っていると判断する。
- ・生徒が行事に主体的に参加し、充実した学校生活を楽しめている様子が見える。

【教職員アンケートについて】

- ・ 教師は、はつらつとしていて頼もしく思える。
- ・ 設問7「いじめの根絶を意識し、暴力のない学校・学級・部活動作りを実践している」の評価は高い。その意識は、生徒にも伝わっていると思う。
- ・ コロナ禍で、教師のやるべき準備等が増えたと思うが、生徒に寄り添って生活をしている様子が伝わる。
- ・ 設問13「働き方改革を意識して、職務にあたっている」に関しては、理想と現実との挟間で葛藤されているものと推察する。教師の多忙化も感じる。教師が心身ともに元気であることが、学校の活性化に繋がることを全職員で意識してほしい。

【その他・今後に向けて】

- ・ 以前よりは減少したが、自転車通学生徒の並進が一部に見られる。交通安全指導を今後も継続してほしい。
- ・ 旭中の良さである生徒が何事にも一生懸命に取り組む姿勢を今後も大切にしてほしい。
- ・ コロナ禍で制限されていたものも次第に緩和されていくが、生徒の行事をどのように実施していくかの判断が大変だと思う。社会情勢と小中の連携を意識して進めてほしい。
- ・ 読書については、本離れ時代の趨勢で指導の工夫が必要だと思う。